

令和3年第3回西之表市議会定例会

所信表明並びに提案理由説明



おはようございます。

本日、ここに令和3年第3回西之表市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご出席くださいます、誠にありがとうございます。

まず始めに、新型コロナウイルス感染症についてご報告いたします。

全国的にも更なる感染拡大が進んでおり、本市におきましても8月13日から22日まで「西之表市非常事態宣言」を発令いたしました。また、鹿児島県においても8月20日から9月12日まで「まん延防止等重点措置」が適用されるなど、感染症の終息は未だに見通せない状況にあります。感染されて現在、治療中の方々の一日も早い回復を心より願っております。また、市民や事業者の皆様におかれましては、本市独自の非常事態宣言による飲食店等への時短要請等、感染拡大防止にご協力頂き心から感謝申し上げますとともに、医療や福祉などの分野で感染リスクを抱えながら最前線で奮闘されておられる方々に対しましても心から敬意と感謝を申し上げます。

今後もワクチン接種を希望する皆さんへ、一刻も早く接種ができるようにワクチン確保に向けて引き続き全力で取り組んでまいります。

す。

次に、馬毛島についてであります。

2019年11月の防衛省と元地権者による土地買収合意、2020年8月、突然の施設整備計画発表、その後の海上ボーリング調査、外周道路整備、詳細検討、環境アセスの実施など、国は当たり前のように、施設整備を前提にあれこれと事を進めています。住民がそれぞれの考えを持ち、それぞれの主張をすることはかまいません。しかし、施設整備は決まったわけではありません。課題や懸案事項は山積しており、これらの解決をみないまま、解決の目途も立っていないままの動きは拙速すぎると言わざるを得ません。このようなことは、ここに暮らす住民を置き去りにしていると感じますし、国会や政府が議論を尽くし、住民の意思を尊重した上で最善策として決定していくことこそが、民主主義の根幹ではないでしょうか。国が今なすべきことは、地元と向き合い、課題をひとつずつ、丁寧に整理していくことだと、強く申し上げておきたいと思います。

さて、第2回定例会以降、市の行事等については、コロナ禍ということもあり中止が相次いでおります。そのなかでも6月14日から27日にかけて、喜志鹿崎沖に沈む旧日本軍機周辺の遺骨・遺留

品調査及び収集が日本戦没者遺骨収集推進協会を中心に行われました。遺骨は発見されなかったものの、機体を引き揚げた結果、機体に関わった方のものと思われる鉛筆と工具類が見つかり、市民への一般公開を通じて戦時に生きた方々へ思いを馳せ、平和への誓いを新たにす機会となりました。

6月21日には、世界ヨガデーに合わせ、下西、日典寺においてオンラインによる寺ヨガを実施、その様子を全世界に発信し、ヨガの聖地・種子島をPRしました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により規模縮小開催となった第52回種子島鉄砲まつりは、8月29日、お坊墓地において墓前祭を縮小する形でお参りを致しました。

次に、農業・畜産業の状況についてであります。

昨年度、多大な被害をもたらしたサツマイモ基腐病の現状につきましては、被害を最小限にとどめるべく、被害株の抜き取り作業や薬剤散布、7月からの早期収穫といった農家の努力により、収量の確保に努めている状況でございます。この間、本市におきましては防除支援員2名を配置し、圃場の巡回と併せ防除指導の徹底を行い、被害拡大防止に取り組んでおります。サトウキビにつきましては、

台風9号の影響が若干ございましたが、順調に生育しており、また収穫見込面積が621ヘクタールと、前年度より約39ヘクタール増加していることから、生産量の増加が期待されているところです。

畜産につきましては、先月実施された和牛の8月子牛セリ市の平均価格が去勢で65万9千133円（前年同月比+75,079円）、雌で56万1千683円（前年同月比+5,072円）と高値で取引がされており、コロナ禍で外食産業が低迷する中でありますが、種子島産の子牛の評価と需要の高さがうかがえます。

また、本市畜産業の主要行事である市畜産共進会につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から牛舎を巡回して行う巡回審査の形式で8月25日及び27日に実施いたしました。なお、熊毛地区畜産共進会及び鹿児島県畜産共進会は、中止が決定しております。

次に商工業・観光業の状況についてであります。

8月に入り、市内においても新型コロナウイルス感染者が急増するなか、県の飲食店等時短要請の対象地域への追加要請を即時に行いました。また本市独自の非常事態宣言発令による事業者への一律10万円の見舞金支援、感染防止対策費補助等について、一刻も早く市

民に支給するために、緊急での予算措置を行ったところであります。

なお、新型コロナウイルス関連では、売上が減少している市内の中小事業者等を支援するため、既に事業持続化支援金事業の給付受付をしております。商工会を窓口に来年3月6日まで申請を受け付けています。

また、9月1日から30日まで1か月間、地域経済の活性化と非接触での新しい生活様式での買い物を推進するキャッシュレス推進プレミアム還元事業を行っています。10月には、別のキャッシュレスサービスを活用したプレミアム付き電子商品券事業も予定しており、来年2月まで利用できる見込みです。さらに歳末には、紙のプレミアム付き商品券も発行し、消費喚起、市内経済の活性化を継続的に実施いたします。

それでは、本日提案いたしました議案についてご説明いたします。本定例会に提案いたしました議案は、令和3年度西之表市一般会計補正予算専決処分1件、西之表市公平委員会委員の選任など人事議案が2件、西之表市手数料条例の一部を改正する条例の制定議案1件、西之表市過疎地域持続的発展計画の策定議案1件、令和3年度西之表市一般会計補正予算など予算議案7件、令和2年度西之表市

一般会計歳入歳出決算認定など認定議案が7件、令和2年度西之表市農業振興公社経営状況報告1件の合計20件であります。

主な議案についてご説明いたします。議案第44号から議案第45号は、人事案件で法令の規定により議会の同意を得ようとするもの、議案第46号は、法令の一部改正に伴い条例の一部を改正しようとするもの、議案第48号は、令和3年度西之表市一般会計補正予算（第6号）についてであります。

一般会計補正予算の主なものは、歳入では、普通交付税が確定したことに伴い1億5千352万7千円を追加しております。また、令和2年度決算に伴う収支の確定により、繰越金に2億2千561万2千円を追加しております。

歳出は、財産管理費、積立金に2億750万8千円や災害復旧費に6千32万2千円を追加しております。

次に、認定第1号から認定第7号までは、令和2年度一般会計及び特別会計等の歳入歳出決算認定であります。

令和2年度一般会計及び特別会計の収支状況は、歳入決算額17億4千348万2千169円、歳出決算額173億4千45万7千768円で、歳入歳出差引額は5億302万4千401円、翌年



度へ繰り越すべき財源 1 億 6 千 8 9 9 万 8 千円を控除した実質収支額は 3 億 3 千 4 0 2 万 6 千 4 0 1 円となりました。

一般会計の収支状況は、歳入決算額 1 3 1 億 2 4 2 万 8 千 3 3 9 円、歳出決算額 1 2 6 億 5 千 6 1 9 万 5 千 1 2 6 円、翌年度へ繰り越すべき財源 1 億 6 千 8 9 9 万 8 千円を控除した実質収支額は、2 億 7 千 7 2 3 万 5 千 2 1 3 円となり、実質収支は黒字であります。

前年度の決算額に対しまして、歳入は、23.1%、歳出は、20.1%それぞれ増となりました。

特別会計では、歳入決算額 4 7 億 4 千 1 0 5 万 3 千 8 3 0 円、歳出決算額 4 6 億 8 千 4 2 6 万 2 千 6 4 2 円で歳入歳出差引額は、5 千 6 7 9 万 1 千 1 8 8 円となり、翌年度へ繰り越すべき財源はないことから、実質収支額も同額となりました。

前年度の決算額に対しまして、歳入は、0.6%減、歳出は、0.7%増となりました。

なお、普通会計における経常収支比率は、89.2%で対前年比 2.8ポイント減少しております。健全化指標は、実質赤字比率及び連結実質赤字比率がゼロ、いわゆる黒字であります。実質公債費比率の3か年平均は、10.0%で、対前年度比0.2ポイントの

増加、将来負担比率は、15.8%で、対前年度比7.0ポイント減少しております。

財政の健全化は保たれており、各指標は概ね減少傾向にあります。今後とも、財政の健全さを損なうことのないよう、細心の注意を払ってまいります。

報告第17号は、令和2年度公益社団法人西之表市農業振興公社経営状況報告についてであります。地方自治法第243条の3第2項の規定により報告するものであります。以上、議案11件、認定7件、報告2件であります。

なお、人事関係等で後日、議案の追加を予定しております。ご審議のほど、どうぞよろしく申し上げます。

令和3年9月10日

西之表市長 八板 俊輔